

経営比較分析表（平成28年度決算）

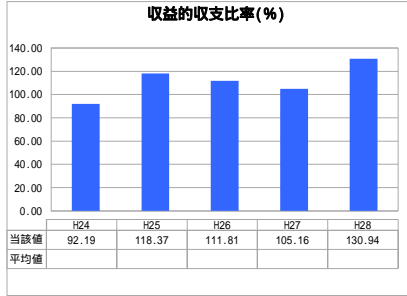
佐賀県 江北町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	4.39	100.00	2,930

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,667	24.49	394.73
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
423	0.04	10,575.00

グラフ凡例
当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



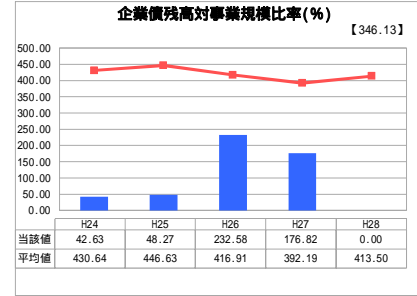
「単年度の収支」



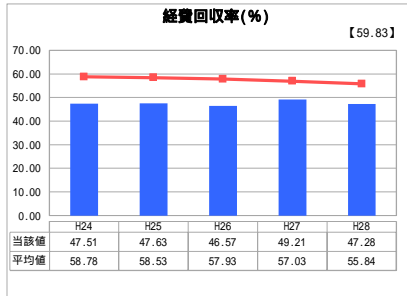
「累積欠損」



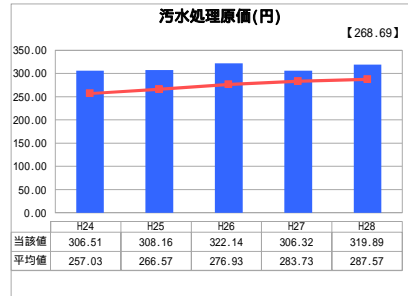
「支払能力」



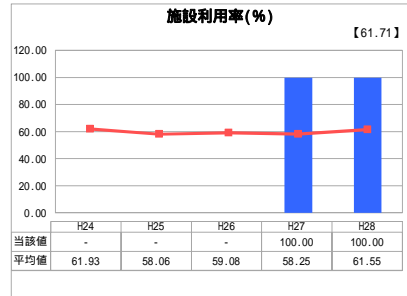
「債務残高」



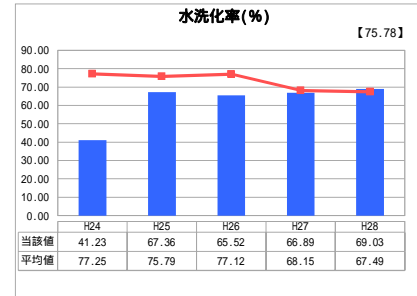
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

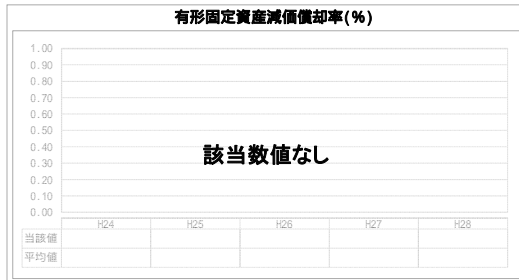


「施設の効率性」

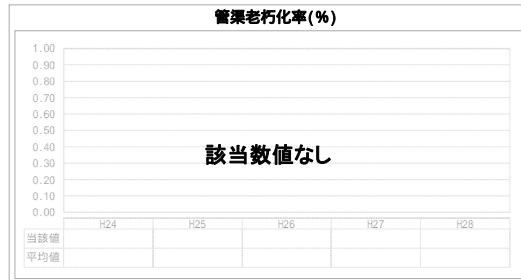


「使用料対象の捕捉」

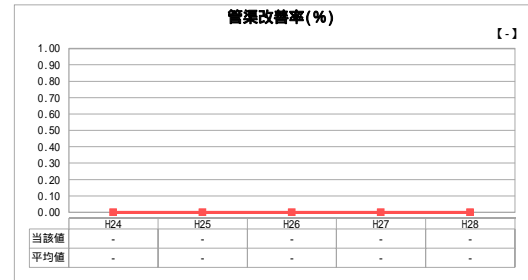
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・収益的収支比率は100%を超えているものの一般会計からの繰入金に依存している。また、平成28年度は浄化槽の設置が無かったため総費用が減となり、昨年に比べ上昇している。
- ・企業債残高対事業規模比率は、平成26年度から企業債の元金償還が始まったため、増加している。
- ・経費回収率は100%を大幅に下回っており維持管理費が使用料収入を上回っているため、汚水処理費用の削減と適正な使用料収入の確保が必要である。
- ・汚水処理原価については、全国平均及び類似団体平均よりも高くなっているため、維持管理費が適正なのか検討する。

2. 老朽化の状況について

- ・年3回の点検と清掃を定期的に行っており、現在のところは不具合はない。

全体総括

- ・点検と清掃を定期的に行い浄化槽の適正な維持管理に努めるとともに、浄化槽整備区域の未整備箇所について啓発を行い事業促進を図る。
- ・また、将来的には経営状況を明確化するため、地方公営企業法の適用に取り組み、維持管理費に見合った料金設定を検討していく。

法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。